# 一橋大学社会科学高等研究院 Hitotsubashi Institute for Advanced Study (HIAS)

# 医療政策・経済研究センター (HIAS Health)

Research Center for Health Policy and Economics



高度な社会科学研究を通じた健康政策への貢献

2022年2月8日(火) 社会科学の発展を考える円卓会議



医療経済高度職業人の養成

# 高度職業人専門プログラム

## 高度職業人専門プログラム

# 医療経済短期集中コース(4日間)

開催時期:例年11月中の土日に開催

開催場所:オンライン

※対面開催時は一橋講堂(東京都千代田区)

医療・介護の現場で仕事をされている方、自治体などで政策立案に携わる方、製薬企業、 大学関係者など医療経済に関心のある方を対象とした短期集中コース

受講生 40人 (2018年) 38人 (2019年)

27人(2020年 ; オンライン開催) 19人(2021年 ; オンライン開催)

HIAS Health の研究員を中心とした多様な講師 エクセルなどを用いた演習やグループワークなどを取り入れたアクティブラーニング











研究・教育ネットワークの構築

他機関との連携

# 国内外の機関と連携したプロジェクト

#### 海外機関等とのプロジェクト

- ◆ 国際協力機構(JICA)およびセネガル共和国、ブータン王国
- SAPPHIRE
- ◆ HTAsiaLink、国際ネットワーク
- ◆ 新型コロナウィルスに関連するプロジェクト(海外)

### 国内のプロジェクト

- ◆ 東京都地域医療構想アドバイザー
- ◆ 厚生労働省
- ◆ 医療機関の経営に関するプロジェクト
- ◆ 新型コロナウィルスに関連するプロジェクト(国内)

# 国際協力機構(JICA)およびセネガル共和国

2017年より実施しているこの共同研究では、セネガル共和国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を支援するための技術協力プロジェクト『コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト』のインパクト評価を行っています。

また、2017年12月12日には、UHCフォーラム2017 (ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ フォーラム2017) の 公式サイドイベントを、国際協力機構(JICA)、セネガル 共和国政府、世界銀行、世界保健機関(WHO)と共 同して開催し、佐藤センター長がセネガルで行っている調査 について報告しました。



2017年7月: 現地にて予備調査



2017年12月: 共済組合ベースライン調査



2018年11月: 家計調査



## JICA およびセネガル共和国

#### 2020年2月~3月: 予備調査、データの分析及び質的調査の準備

JICAによる技術協力の対象となるセネガルの三つの州(Thiés、Diourbel、Tambacounda)での家計調査の実施にあたり、2020年2月から3月にかけて、中村良太准教授、真野裕吉准教授およびThomas Rouyard特任助教がセネガルに滞在し、セネガル国家医療保障庁及びJICAと共同で調査を実施しました。



ティエス(Thiés)州都市部の共済組合にて



タンバクンダ(Tambacounda)州の共済 組合県連合での調査。



カフリーヌ(Kaffrine)州での女性による集団 農業の様子



# ブータン王国 The Kingdom of Bhutan

#### 共同研究(2019年7月より実施)

- 費用対効果の閾値の定量化研究
- アルコール課税のインパクト評価

#### 技術支援(2020年2月)

ブータン保健省から同国における費用対効果の 閾値(CET)の実施と推定に係る技術支援 要請のレターにサイン



2020年1月: ブータン保健省の職員と



# JICAおよびブータン王国

2019年7月20日から28日にかけて、HIAS Health 研究員2名が、JICA 調査団の一員としてブータン王国を訪問しました。

この調査団は、ブータン保健省より依頼のあった、同国における必須医薬品リストの改定に向けた医療技術評価(HTA: Health Technology Assessment)を行う際の閾値の開発の予備調査を目的として派遣されたもので、共同研究実施者としてタイ保健省(HITAP)からも研究者職員2名が同行しました。



保健省における中村研究員と Waranya Rattanavipapong氏の講義を終えて



保健大臣 (中央) を表敬訪問

#### **SAPPHIRE**

SAPPHIRE は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)および健康における持続可能な開発目標(SDG3)の達成を目指して、ゲイツ財団の資金提供を受けた International Decision Support Initiative (iDSI)の中に、医療技術評価

(HTA: health technology assessment) 政策を推し進めるコンソーシアムとして2019年に設立されました。中低所得国の政府に対して、科学的根拠に基づいた効率的な医療の意思決定の適用を促進するための医療、政策、経済に関する支援を提供することを目指しています。



SAPPHIRE第2回専門委員会

#### **SAPPHIRE** members

- Thai National Health Foundation (NHF)
- HealtIntervention and Technology Assessment Program (HITAP)
- Saw Swee Hock School of Public Health (National University of Singapore NUS)
- Mahidol Oxford Tropical Medicine Research Unit (MORU)
- > HIAS Health

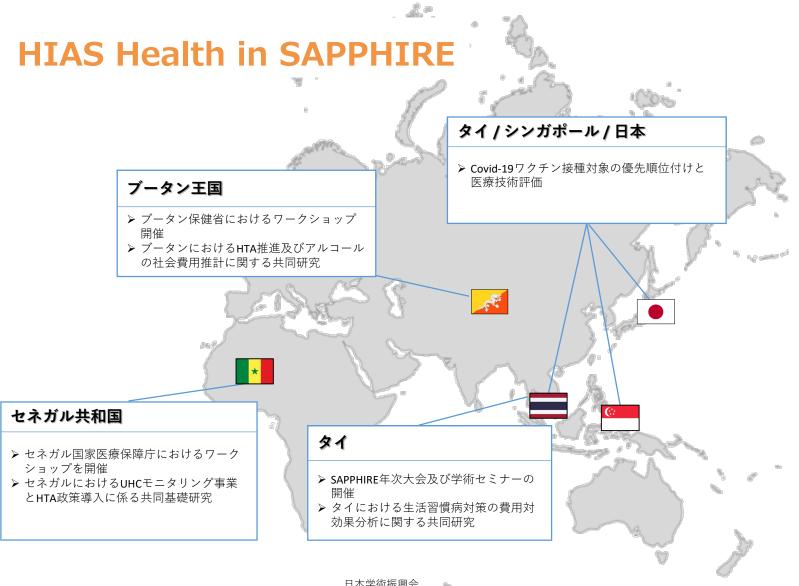












日本学術振興会

科研費基盤研究(A) 「アジアにおける医療資源配分の効率化」(課題番号:21H04396) 研究拠点形成事業

「低中所得国における医療技術評価を活用した効率的な医療資源配分の推進」(課題番号: JPJSCCB20200002)



### **HTAsiaLink**

HTAsiaLinkは、アジア地域の各国のHTA(医療技術評価)機関の相互交流のためのネットワークです。情報と研究資源の共有を加速させることによってHTAの研究を促進すること、またアジア地域におけるHTAの効果的な手法を開発することを目的としています。

HIAS Healthは、2018年4月に HTAsiaLinkの機関会員(日本)となり、さらに同年の年次大会中に開催された総会において、投票により6か国の代表機関からなる Board Member に選出されました。

2018年の年次大会の際には、Scientific Advisory Committeeのメンバーとして 大会運営にも貢献しています。



#### **CORESIA**

COVID-19 Vaccination Policy Research and Decision Support Initiative in Asia (CORESIA) (アジアにおける新型コロナウィルスワク チン政策に関する研究および政策意思決定支援イニシアチブ) は、アジア域内での ワクチンパスポート導入に向けたプロジェクトとして2021年に発足しました。

新型コロナワクチンの接種が進み、地域、国内、 国外における活動を再開させるうえで、ワクチン 証明書がどのように役に立つのか、また各国のワ クチン証明書開発や実施、関連する政策立案 の指針となる文書を作成しています。

HIAS Healthから中村良太准教授がワーキング・グループ・メンバーとして参画しています。



CORESIA website (https://vaxcert.info/)

日本学術振興会

科研費基盤研究(A) 「アジアにおける医療資源配分の効率化」(課題番号:21H04396) 研究拠点形成事業



# HITAP, Thailand

HIAS Healthでは、これまで Health Intervention and Technology Assessment Program (HITAP、タイ保健省 (Ministry of Public Health) 下の半独立の研究ユニット) と良好な関係を築いてきました。

2017年11月 一橋大学医療経済国際ワークショップ

"Implementation of HTA in Japan and other Asian countries"



2019年1月

Prince Mahidol Award Conference 2019 (PMAC 2019) @ Bangkok, Thailand

PMACによる委託研究『Best buys, Wasted buys, and Controversies in NCD Prevention』の著者の一人として HIAS Healthから中村良太准教授が参加しました。





# **University of Paris, CEPED**

■ブラジル、カナダ、フランス、日本の保健・医療制度と新型コロナウイルス流行への対応 一迅速で効果的な対応を促す制度要件に関する国際比較研究

保健・医療(財政)制度が異なる国で比較・分析することにより、COVID-19パンデミックのような「ヘルス・ショック」が起きた際に、効果的な対応を促すための制度要件について明らかにすることを目的とした研究です。

#### <比較対象>

- 社会保険制度
  - フランス
  - 日本
- 税方式
  - ブラジル
  - カナダ

保健・医療(財政) 制度(日本)

Financing responses

保健・医療(財政) 制度(フランス)

Financing responses

保健・医療(財政) 制度(カナダ)

Financing responses

保健・医療(財政) 制度(ブラジル)

Financing responses



## 東京都 地域医療構想アドバイザー

#### ■ 高度職業人養成プログラム「医療経済プログラム」の提供

医療経済・経営に係る社会科学の学問的・複合的知識に加え、医療現場に理解のある人材を育成すべく、一橋大学が参画する四大学連合の枠組みを活かし、経済学にとどまらず経営学、社会学、医学、工学などの科目を含む学際的なカリキュラムを提供するプログラムを提供しています。

#### ■ 地域医療構想アドバイザー

HIAS Health研究員3名が東京都地域医療構想アドバイザーに任命され、 地域医療構想の達成に向け、技術的支援を提供しています。

2020年3月~6月までの病院の経営分析を実施し、その結果を都内のすべての病院に対して公表予定。また、2020年10月以降に開催された地域医療調整会議へ出席し、地域別の医療利用の現状と将来見通しについて学術的な立場から見解をまとめています。



## 厚生労働省

■ 厚生労働科学研究費

(循環器疾患·糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)(2020-2022)

#### 【研究課題名】

国民の健康づくり運動の推進に向けたNCD対策における諸外国の公衆衛生政策の状況とその成果の分析のための研究



# 医療機関の経営に関するプロジェクト

- 医療法人の事業報告書等を活用した医療機関の経営に関する研究
- 医療機関の経営管理に関する郵送質問票による実態調査研究

#### これらの研究成果として以下のワーキングペーパーを刊行

- 荒井耕(2021)「診療所の都道府県別財務実態の経年変化分析―診療所経営医療法人群における 地域差の変化状況―」一橋大学大学院経営管理研究科ワーキングペーパーNo.164.
- 荒井耕(2021)「都道府県別の病院財務実態差の経年変化分析―病院経営医療法人群における地域差の過去10年間の変化状況―」一橋大学大学院経営管理研究科ワーキングペーパーNo.163.
- 荒井耕・古井健太郎(2021)「病院の附帯業務多角化類型別の財務実態―病院のみ単拠点型医療 法人群に焦点を当てて―」一橋大学大学院経営管理研究科ワーキングペーパーNo.160.
- 荒井耕(2020)「医療機能を異にする有床診療所群別の財務実態の把握―『事業報告書等』と『病床機能報告』との連動による財務情報基盤の充実―」一橋大学大学院経営管理研究科ワーキングペーパーNo.159.



## 新型コロナウィルスに関連するプロジェクト(国内)

#### ■ COVID-19ワクチン大規模調査

COVID-19のワクチンがもたらす様々な行動変容を明らかにするために、7月を目途にネット調査を実施予定。

#### ■ コロナの政策対応についてのワークショップ

内閣府経済社会総合研究所(ESRI)、一橋大学社会科学高等研究院EBPM研究センター(HIAS-EBPM)と共同で、2021年秋に開催。

個人の健康や行動変容、財政再建への影響等について、研究報告。



# その他現在進行中プロジェクト

- 二国間交流事業(セミナー):3月中にオンラインにて実施予定
- ガーナにおけるコロナワクチン接種に関する研究(オックスフォード 大学とガーナ大学との共同プロジェクト)
- ヘルスリテラシーを高めるために求められる情報ソースに関する調査